「北海道グローバル戦略」の見直しについて

資料１

○　新型コロナウイルス感染症の影響をはじめ、世界規模の様々なリスクが顕在化してきた

ことから、道では、戦略の中間年にあたる2021年12月に「北海道グローバル戦略」を改

訂した。

一方で、その後においても、ロシアによるウクライナ侵略や東アジアにおける緊張の高

まりなど、これまでの想定を超える大きな国際情勢の変化が起きており、道内経済はもと

より、生活、文化、スポーツなど、道民生活に幅広く大きな影響が及んでいる。

このため、道では、2022年10月に「北海道グローバル戦略」の展開に関する有識者会議を設置し、有識者の皆様から現状等をお聞きするとともに、庁内体制を整備して、国際情勢による影響・課題の抽出、対応のあり方について議論・検討を行ってきたところ。

現在も国際情勢は刻一刻と変化し、想定されるグローバルリスクは多岐にわたることか

ら、直面したリスクに迅速かつ柔軟に対応するという観点から、「北海道グローバル戦略」

を見直す方向で検討する必要がある。

このため、来年度の施策による対応も見据え、見直しに関する方向性を**「基本的な考え方（素案）」**として、今年度中に示したうえで、見直しに取り組むこととする。

１　国際情勢による影響（主なもの）

2017策定時

感染症の拡大

為替・株価の変動

テロの頻発

保護主義、内向き志向の顕在化

政情不安等

2021改訂時

**コロナ･パンデミックに伴う社会・経済情勢の変化**

東アジア地域における

緊張の高まり

**ウクライナ情勢**

急激な為替変動

今回

コロナ・パンデミックに加えて、ロシアによるウクライナ侵略や急激な為替変動といったグローバルリスクが顕在化し、本道に及ぼす影響が一層、複雑化・複合化している。

○世界経済に深刻な打撃を与え、道民の暮らしにも大きな影響

○燃料の調達コストの上昇

○農林水産物をはじめ、エネルギーや鉱物、原材料等の価格の高騰

○国際漁業交渉に大きな影響

○金融制裁による資金決済への影響　など

２　検討スケジュール（予定）

　　・1/25(水) 第2回有識者会議　見直しの方向性等について意見聴取

・2～3月　 議会議論（第１回定例会）

　　・4～5月　　第3回有識者会議　戦略の見直しを検討

・6～7月　　議会議論（第２回定例会）、パブリックコメント、第4回有識者会議